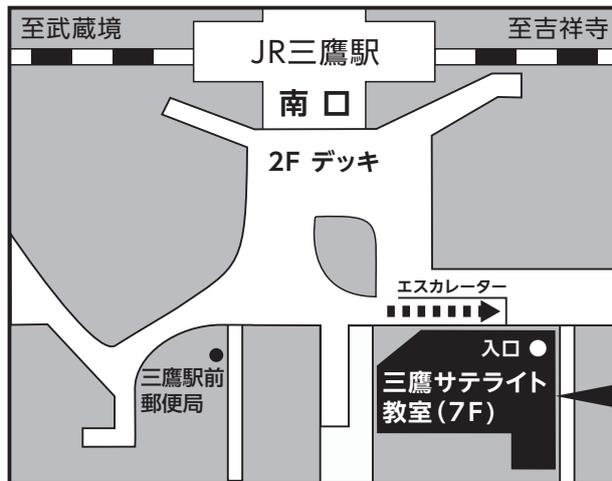


日本仏教の流れから学ぶ

受講料 (振込額)	12,500円				
必携テキスト	—————				
講座概要	曜日	水曜日		日程 4月10・24日 5月1・29日 6月12日	
	時間	15:00～16:30			
	回数	全5回	定員		40名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F / 大教室			
講師	福泉寺住職・本願寺派布教師 小笠原 博慧 (おがさわら ひろとし)				
	1941年生まれ。1965年、私立高校教諭(漢文)。1974年、公立高校教諭(国語)。1994年、武蔵野女子学院高校教頭。1999年、同中学・高校校長。その間1975年、國學院大學講師(漢文学)。1982年、市立大月短期大学講師(文学、日本語)。1988年、武蔵野女子大学講師(仏教学、日本仏教史)。同大学仏教文化研究所所員。1988年、福泉寺住職。				
内容	<p>仏教と戦争という課題にはたいへん重い事実の積み重ねがある。</p> <p>明治期の日清戦争と日露戦争に対して、各宗が出した戦争肯定への仏教徒の非難にもかかわらず、結局は協力態勢をとったことに始まるからである。戦勝祈願につとめ、従軍布教につとめた。仏教界の限界ともいえる。</p> <p>当時の帝国主義体制に順応し、慈善事業にたずさわることによって、“政治のひずみのうめ合わせ” “しないよりまし” 的な行動となった。太平洋戦争になり、この傾向は一層顕著になった。知られる範囲での資料をみってみる。また、既成仏教以外の新宗教の実態は、より多様化、細分化していった。双方の動向と国家との関わりをみってみる。</p>				
	<p>① 4月10日：仏教界と戦争①</p> <p>② 4月24日：仏教界と戦争②</p> <p>③ 5月1日：仏教界と戦争③</p> <p>④ 5月29日：既成仏教と新宗教の動向①</p> <p>⑤ 6月12日：既成仏教と新宗教の動向②</p>				



武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。